

女性活躍

日本は未曾有の人口減少社会に突入しています。と言う事は生産人口が減っているのです。人口減少社会を維持していこうとすると、日常生活に使う日常品の多くが国内生産（ドメスティック）から海外生産（グローバル）にシフトすることは当然の流れだと思います。

その流れが現在身近で起こっているインターネットを軸にした流通革命ではないでしょうか。しかしこのインターネット革命を支えているのは、男性ではなく女性だと服部商店は考えています。

例えば服部商店のホームページの土台は、エンジニアの男性が3ヶ月以上の時間を費やして制作してくれました。その上に大よそ3ヶ月の時間をかけてお城的な部分を載せて出来上がりました。合計6ヶ月の時間がかかりました。

しかし毎日の運用は女性スタッフが仕事を淡々とこなしてくれています。HTMLの書き換え作業は複雑ですが、淡々とこなしてくれています。そしてネットの御注文は全国から頂いています。お見積もり・発送案内等仕事を淡々とこなしてくれています。

特に服部商店が力を入れているのは、発送案内です。（企業秘密なので口外出来ません）この単純な発送案内の中に御客様から信頼を得られる何かが有るのです。この作業は女性しか出来ません。

ところで服部商店が扱っている無垢材は、最もローカルでドメスティックな商品だと思います。その中で服部商店の内部も大幅に変わらざるを得なかったのです。

材木屋の経営者の中にも現在の男性社会の業界をこのままで良いとは決して考えていないと思います。しかし簡単に一步が出ないのも仕方がないと思いますし、服部雅章もそうでした。

しかし昔（高校時代の先生から習った2010年中旬から人口が減る）の授業の骨格部分は40年以上経過した小生の脳裏に残っています。と言う事はある面社会全体が変わらないとやっていけない事を当時から感じていたのかも知れません。

服部商店は超零細企業です。社会保険等の公的な事には当たり前に取り組んで来ました。そして職場環境面、女性が活躍出来る会社で一番大事な設備は女性トイレで有る事は昔から解っていました。しかし昨年9月の台風被害の修繕に多額の費用を投入せざるを得なくなりました。それでも、この不測の事態・状況だからこそ働く場の環境整備をと思い、「女性専用トイレ」を作りました。100万円弱かかりましたが、作って良かったと思います。女性にも好評です。



銀行って何

小生の肌感覚を書きます。銀行のお客は預金者ではなく、借りてくれている方です。しかし我々一般人は、銀行から見たら大事な御客なのに必要以上に頭を下げています。何故下げるのか、理由は簡単です。知らないからです。銀行業務は大きく二つに分かれています。公的な部分と私的な部分です。公的とは何か。それは金融と言う業務そのものです。お金は経済の血液なのです。その血液を循環させることが銀行の公的な仕事です。血液のお金を扱うと言う仕事は、銀行に大きなチャンスを与えているのです。銀行員は四六時中預金者のお金の流れを見ることが出来るのです。と言う事は銀行を経由するお金のやり取りが解るのです。お金の流れが解ると言う事は、国民全ての個人情報が集まると言う事です。しかしこの銀行本体の業務に対して物凄く大きな力が働こうとしていたら皆様はどう感じます。それが仮想通貨です。

フェイスブックのリブラが世界的に流通するの否かは全く解りませんが、可能性は大きいと思います。少し違う角度から見ます。キャッシュレス社会が少しずつ日本にも広がっているのは解ると思います。現在世界中で一番進んでいて多くの消費者が参加しているのは、中国のアリペイだと言われています。中国人10億人が利用できると言われていた仕組みと将来国際化した人民元の仕組みが合致して世界の水準になってしまうより、資本主義陣営のフェイスブックの方がベターではないでしょうか。私は元来ネットでの物の販売には必ずしも積極的では有りませんでした。キャッシュレス社会が先々どんな世の中を作っていくのかを色んな所で見聞きして客観的に考えると、我々日本人の生き方が左右されるという見方より、キャッシュレス社会に如何に対応出来るかを考える方がベターだと感じています。5年～10年以内に日本銀行券が使えなくなるとは思っていませんが、リブラと日本円が両方とも流通する社会構成になっているかも知れないのです。今の日本の銀行の仕組みはあくまで日本銀行券が国内で使われることが前提です。第一段階のキャッシュレス経済になった場合、事実上硬貨・紙幣は流通しなくなるのです。次の段階の日本円と同じくらい信頼感の有る通貨がリブラだったらどうしますか。海外旅行に行くのも、生命保険に加入するのも日本円より使い方が優れていたら、どうしますか。アメリカ流が世界を牛耳ると言っているのでは有りません。中国等の共産圏主義体制で独裁政治体制の通貨とどちらの方がベターなのかを考えると、我々日本人は資本主義体制で生きていく方がベターだと思います。キャッシュレス化は現在の金融システムを大きく変える道導になるかもしれません。銀行を上手く利用するような時代が来るかもしれないと思います。

デザインを追求しすぎるとお金がかかる

服部商店の天井には埋め込み式エアコンが設置されています。1993年竣工なので26年の時間が経過しました。そのエアコンの寿命が切れました。工務店に連絡して見積もりを上げて頂くと5馬力のエアコンから3馬力のエアコンにボリュームダウンしたにもかかわらず、90万以上の見積もりが来ました。しかし今季は台風被害の修繕が、二流の保険会社だったために500万以上の資金がショート。同じ仕様



のエアコンの取り換えより壁掛けの方が安くなることを以前から聞いていたので、躊躇せずに多少の使い勝手が悪くなることも考慮しましたが壁掛け式にしました。

(埋め込みタイプを外しました。外さなくても良いのではとアドバイスが有りましたが、躊躇なく外しました。理由は建物の構造部分に劣化が起きていないか。を確かめる事です。この作業を軽視できないと以前の経験から解っていました。全く劣化は起こっていませんでした)

平成元年に服部商店が建設したマンションが有るのですが、ローンは平成31年2月に完済しました。しかし2023年問題と言う事を工務店から聞いています。それはエレベーターの保守部品のメーカーのストックが無くなります。下記は工務店さんの話の要約です。

最近建てられたマンションと旧来型のマンションの見分け方。

1. エレベーターホールが新しい建物には無い。つまりエレベーター設備は地下に有るのです。
2. 貯水タンクが新しい建物には有りません。1階から強力なポンプで水を上げているそうです。建て方が進歩すると言う事は、有る面正しい選択かもしれませんが、それなりに将来負担が掛かることも事実だと思います。

エレベーターをやり替えるのに掛かる経費は450万円相当と聞いています。

設計とはデザインです。奇抜なデザインも必要ですが、何十年先の建築のデザインは様変わりしているかも知れないと思います。

具体的に言えば、車と同じ様な設計で出来上がっている。部分的に修理をするのですが、その部分だけを全て交換してしまう様になるかも知れないと思っています。

過去の色々な弊害を乗り切ることをしてきたのが日本人です。我々の知恵で乗り越えられない課題はないと思いますが、それなりの工夫が必要だと思います。

最大 20%オフ!! お中元・ウォールナット祭り 続行中

期間限定：お中元ポイント加算

ウォールナット全商品

* お買い上げ 50,000 円以上

* 期間：7月1日～8月18日



2018年12月11日買い付け ナット原木

期間限定：お中元ポイント加算

| | |
|----------|------------------|
| ダイヤモンド会員 | $10\%+10\%=20\%$ |
| プラチナ会員 | $7\%+10\%=17\%$ |
| ゴールド会員 | $5\%+10\%=15\%$ |
| シルバー会員 | $2\%+10\%=12\%$ |
| ブロンズ会員 | $1\%+10\%=11\%$ |
| 非会員 | 10%オフ |